

あさぎり・おおくら総合支援センター（本拠点）の開所について

地域総合支援センターは、生活のしづらさを抱える人が家族や地域とのつながりを持って暮らせるように、広く相談を受け、総合的かつ包括的な支援を行う拠点として、平成30年4月より市内6か所に設置・運営しています。このうち、旧あかねが丘学園敷地内において、仮拠点で運用を行っている朝霧・大蔵中学校区を担当するあさぎり・おおくら総合支援センターについては、同敷地内で本拠点が完成し、次のとおり開所することとなりました。

充実した施設の内容と機能について、お知らせします。

1 開所年月日／令和2年4月1日（水）

2 施設の整備

(1) 施設の概要

- ① 位置／明石市松が丘5丁目7番22号
- ② 敷地面積／約3,300㎡
- ③ 階数／地上1階
- ④ 延床面積／約600㎡

(2) 施設の主な機能

施設が整備されることにより、来所者に配慮した相談環境の充実に加えて、新たに設ける交流・活動スペースを活用した住民主体の多様な支え合い体制の構築等、地域共生社会づくりの推進を図ります。

機能	内容
総合的・包括的支援機能	○ 事務室／約80㎡（センター職員15名程度を想定） ○ 相談室／約10㎡×2部屋
地域住民の交流拠点機能	地域ケア会議等を開催することにより、地域住民が参画し地域課題を検討するなど、地域づくりを推進するためのネットワークを構築する地域住民の交流拠点 ○ 研修室／約100㎡×3部屋
市民活動等の拠点機能	市民活動団体やボランティア団体が利用でき、また、その活動を支援できる拠点 ○ 会議室／約40㎡

3 地域福祉活動の支援（「あさぎり福祉センター」として幅広く活用）

施設整備にあたっては、地域から、センターによる相談支援だけでなく、敬老会等で地域福祉に資する活動の場として活用したいとの要望を受けてきたことから、施設（建物）の名称を「あさぎり福祉センター」とし、地域に親しまれ、幅広く活用していただける施設を目指します。

4 竣工式

(1) 日時・場所／令和2年3月21日（土）午前10時～11時・同センター

(2) 式次第

- 開会、テープカット
- センターの概要説明
- 講演：「SDGsとこれからの地域総合支援センターの役割」
講師：坂下玲子教授（兵庫県立大学看護学部）